

[担当教員]

李暎一 (atelier Be・cause・Lee) 竹口健太郎 (大阪産業大学特任教授)

遠藤秀平 (教授)

[Teaching Assistant]

崔秋韻 (A63) 森下孝平 (A63)

■課題主旨

メモリアル空間を(面状の構造により)計画する(面状の構造とは柱や梁による線材の架構ではなく、壁面/床面/屋根面の連続により構造躯体として成立するものを言う)。構造計画に関しては厳密な構造計算による根拠は求めないが、モデル検討及び構造力学的見地に立った基本的な考察を必要条件とする。この構造体を構成する材料は石・コンクリート・鉄・ガラス等一般的に流通するものとし、社会的な合意を得られるコストを前提とすること。また、平面計画や建築造形において形態的メタファーによる合意を目的とせず、計画する環境(場・空間)に対して身体的な関心と理解を探求すること。個人を象徴する空間を熟慮し、そこに必要な空間と場の特殊性を構造・構成・構築概念を手がかりに物理的提案として創出する。

■概要

各自が社会的実績を勘案し顕彰に値すると判断する人物を選択、その個人のためのメモリアル空間を設計する。敷地の選定においては、選択の必然性を前提とすること。その他必要空間を設定し理想的な外部環境・ランドスケープを含めてのメモリアル空間を提案すること。延床面積は2000平米程度とする。

■敷地

各自設定。設定した人物にふさわしい敷地を選ぶこと。

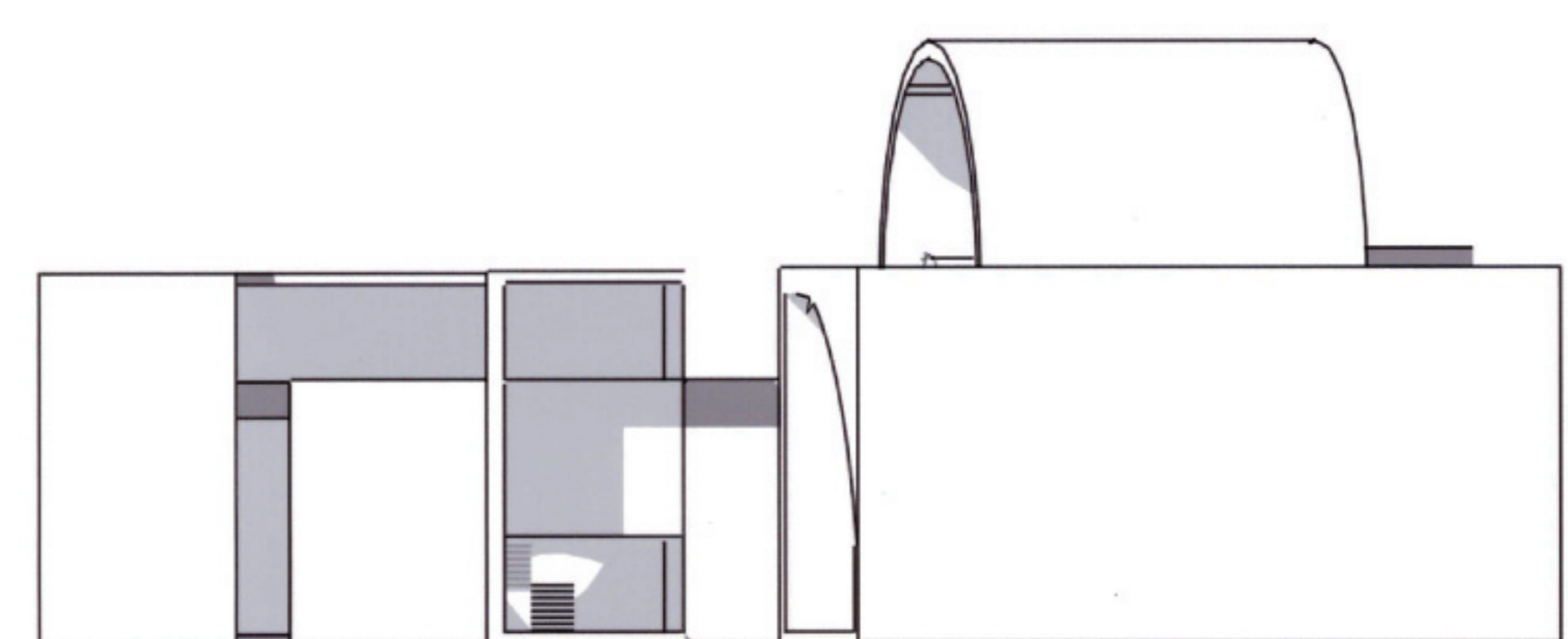
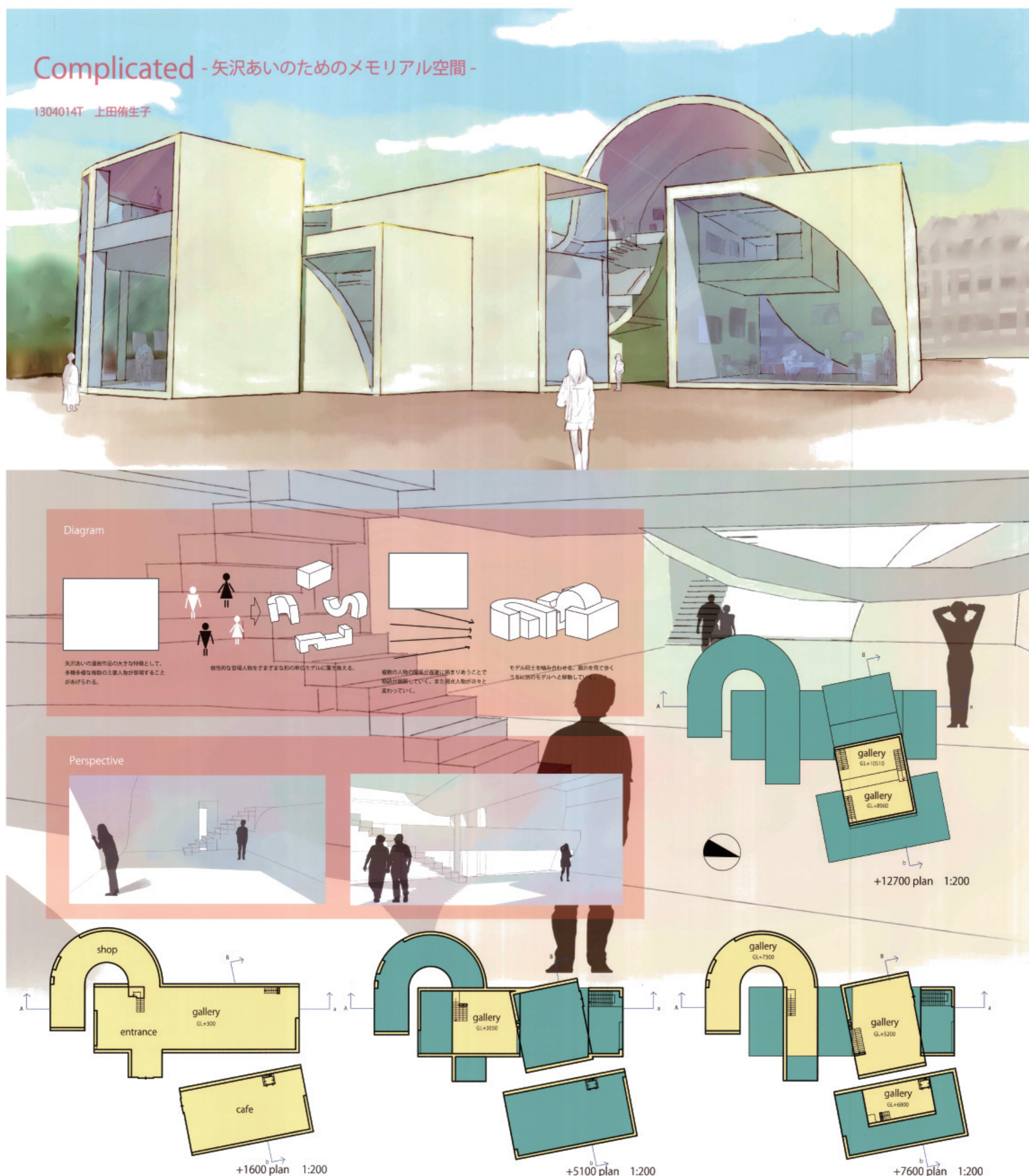
■提出物

A1図面3~5枚程度、完成モデル1:100、必要図面は各自設定し、第三者に十分な理解を得られることを目的とする。

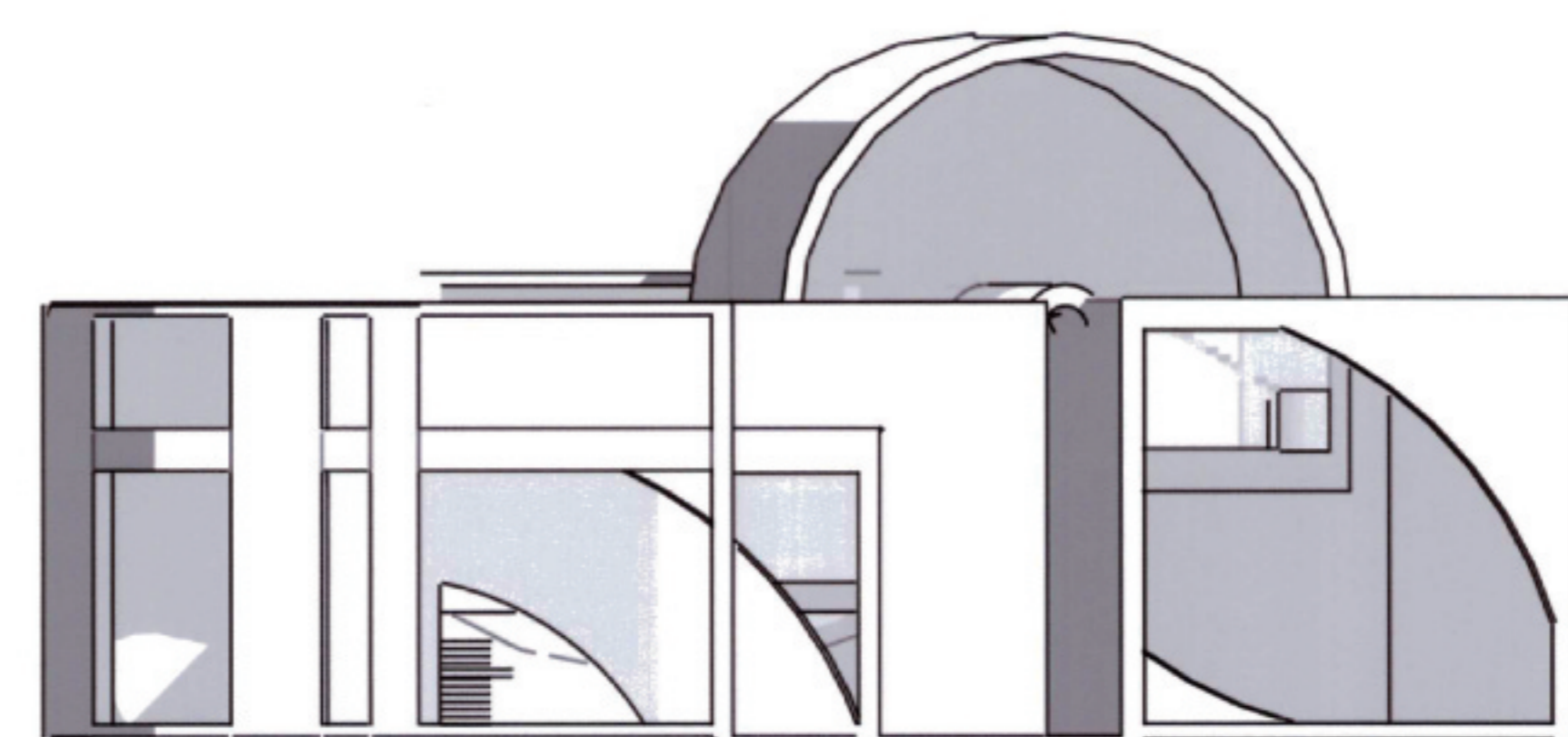
Complicated- 矢沢あいのためのメモリアル空間 -

上田侑生子

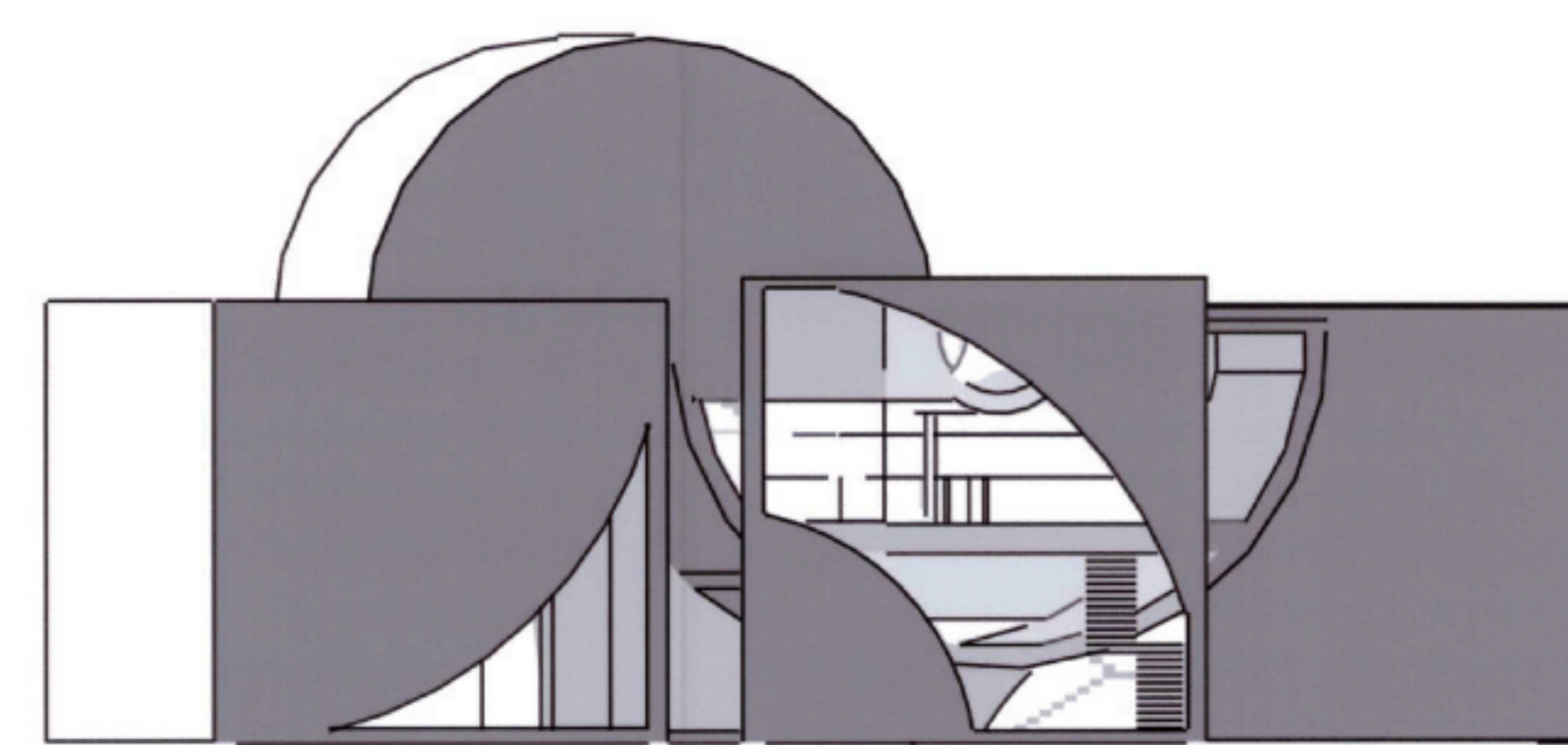
『NANA』『Paradise Kiss』など多くのヒット作を生み出した矢沢あい。多種多様な登場人物が登場し、その関係が複雑に絡まり合い、物語が展開していく…。そんな彼女の作品を様々な形の単位モデルを使い組み合わせることで建築に表現した。



east side elevation 1:200



south side elevation 1:200



north side elevation 1:200

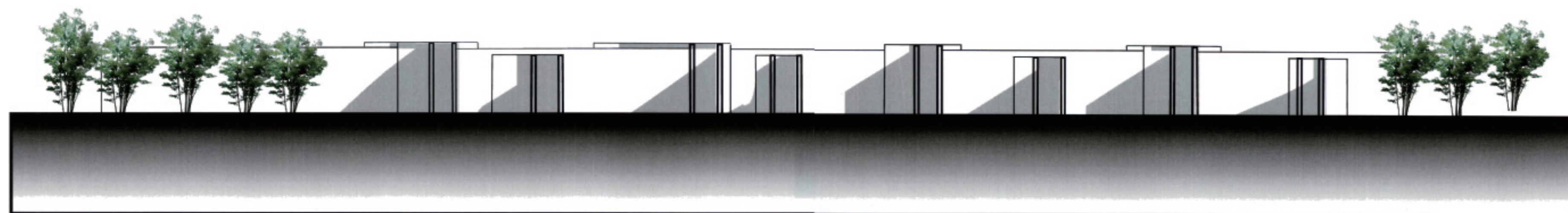
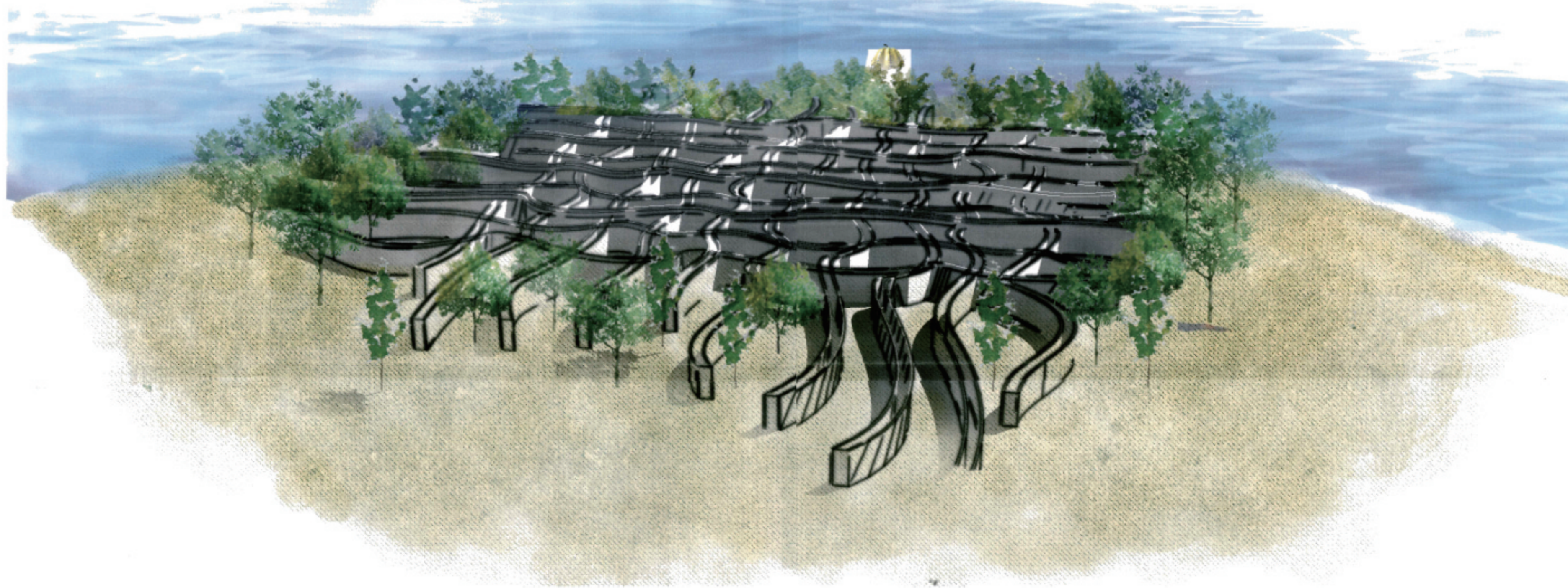
Infinity Net

岡実侑

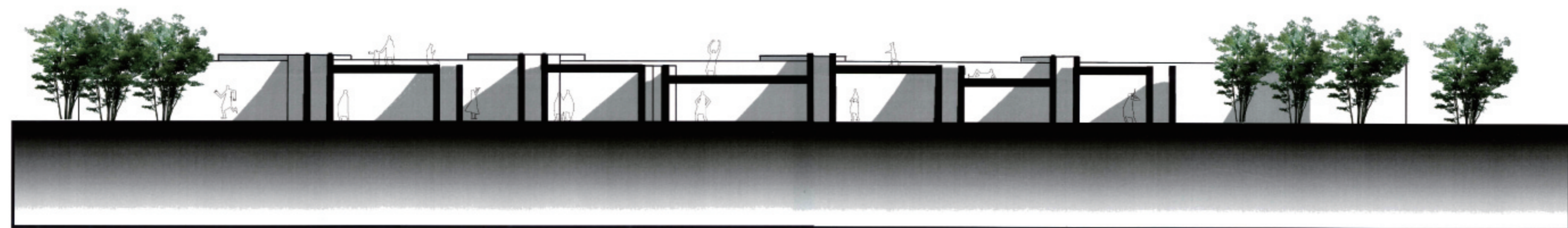
草間彌生の代表的表現『水玉』と『網』彼女にとってそれらは、“無限”“反復”を表す。網の中で彷徨い、無限の反復という単純なものをたどっていくなかで人はなにを感じ、なにを思うのか。草間彌生の世界観を体感し、彼女の人生、願いを知るきっかけとなしてほしい。

Infinity Net

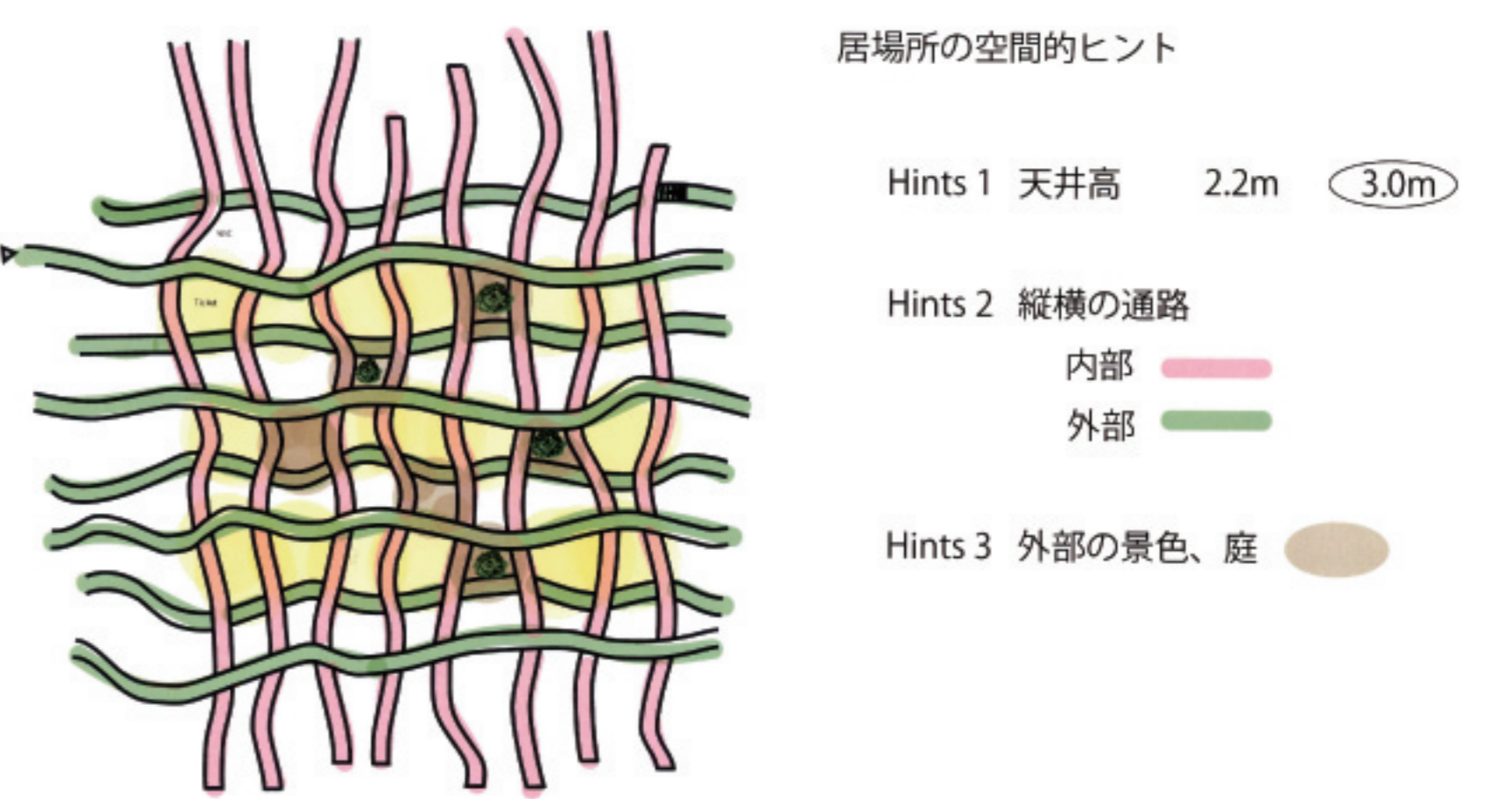
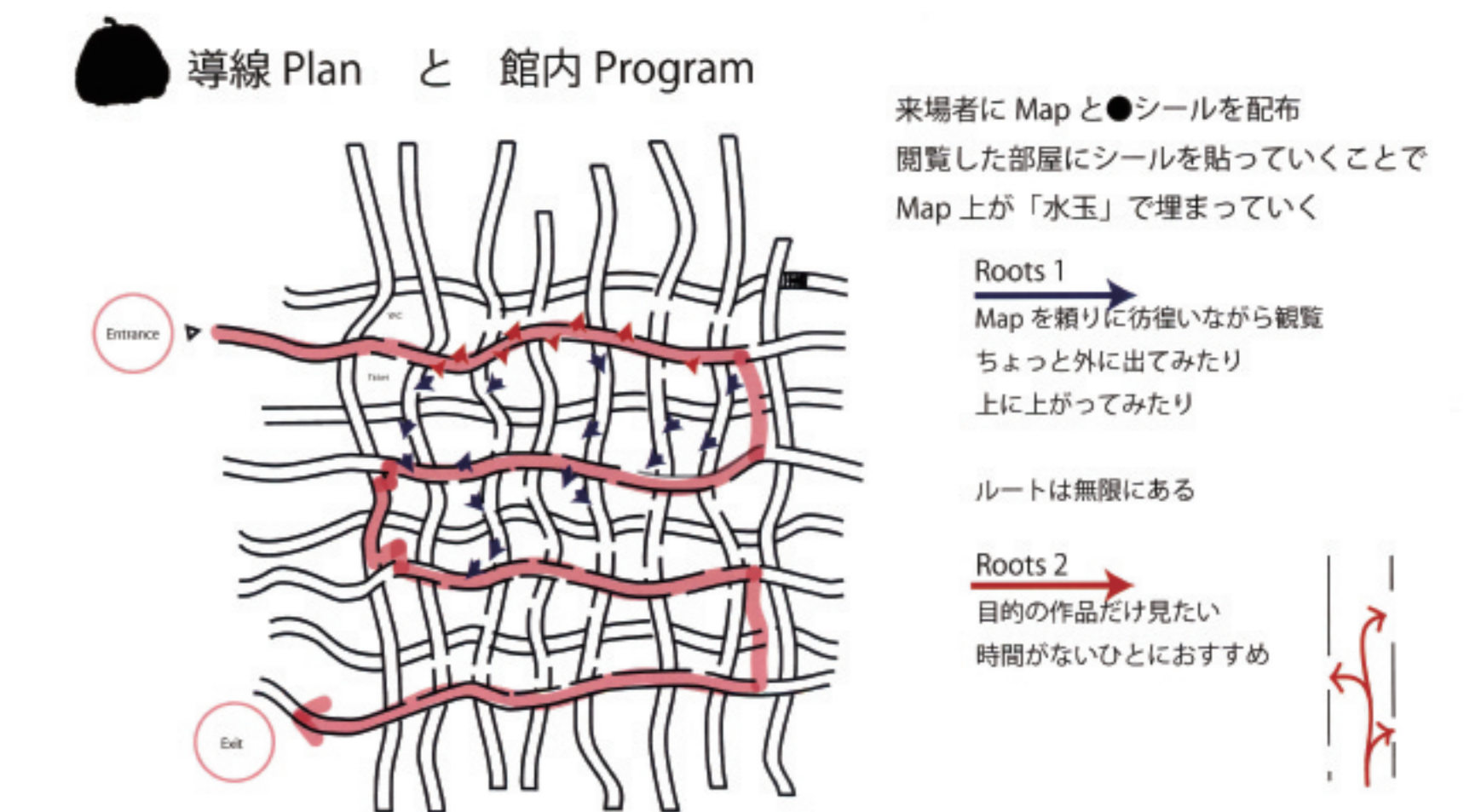
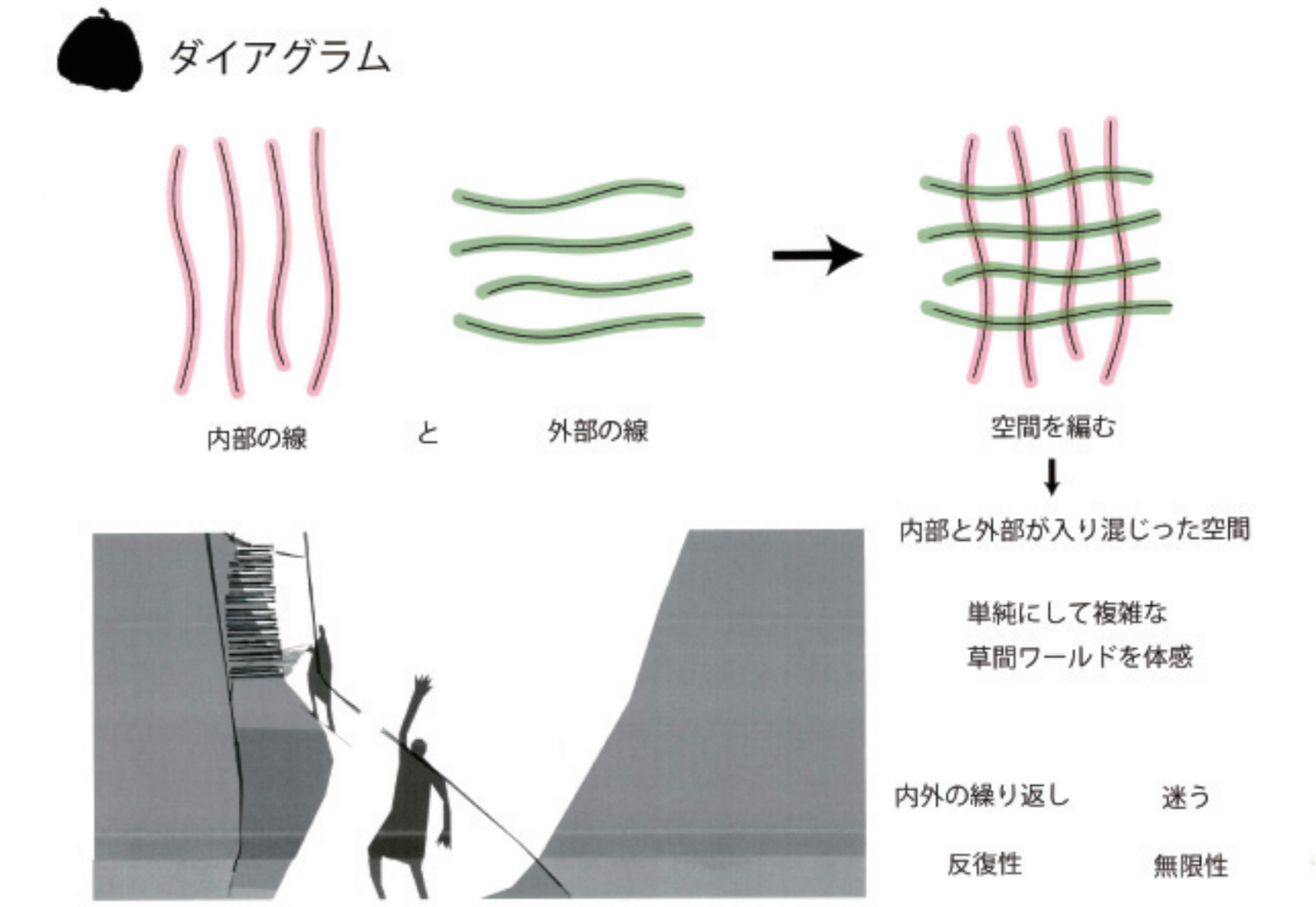
- 無限の網 -



S = 1:100 西側立面図



S = 1:100 断面図



The Locus Of The Nobel Prize Of Prof.Shinya Yamanaka

稲田祥太郎

2012年10月に日本人で2人目のノーベル生理学医学賞を受賞した山中伸弥教授のためのメモリアル空間。無数の細胞が互いに支え合い成り立っている生物のように、細胞を模したそれぞれのユニットが互いに支え合うように建ち、それがひとつの建築物を作り上げている。

The Locus Of The Nobel Prize Of Prof.Shinya Yamanaka

1500117 444 4444

— Concept —
2012年10月ノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥教授のメモリアル空間。
IPS細胞の研究を始める以前は研究員で、山中教授は多くの失敗や挫折を経験してきた。その
ような出来事や挫折を乗り越え、山中教授にとって多くの「根拠」があった。その
根拠が互いに支え合っているように、この建築も互いに支え合っている。その根拠をネットワークと
して、空間を構築した。視覚的に見れば空間が互いに支え合っている空間である。

— Career —
1985 Map 京都府立医科大学医学部解剖学教室 助手
1987 Map 京都府立医科大学医学部 助手
1987 Map 国立大阪府立医科大学 助手
1989 Map 1993 Map 大阪府立医科大学医学部解剖学教室 助手
1990 Map 京都府立医科大学医学部解剖学教室 助手
1994 Map 大阪府立医科大学医学部解剖学教室 助手
1995 Map 京都府立医科大学医学部解剖学教室 助手
1997 Map 京都府立医科大学医学部解剖学教室 助手
2002 Map 京都府立医科大学医学部解剖学教室 助手
2003 Map 京都府立医科大学医学部解剖学教室 助手

2F Plan 1:200

1F Plan 1:200

a-a' Cross Section 1:200

b-b' Cross Section 1:200

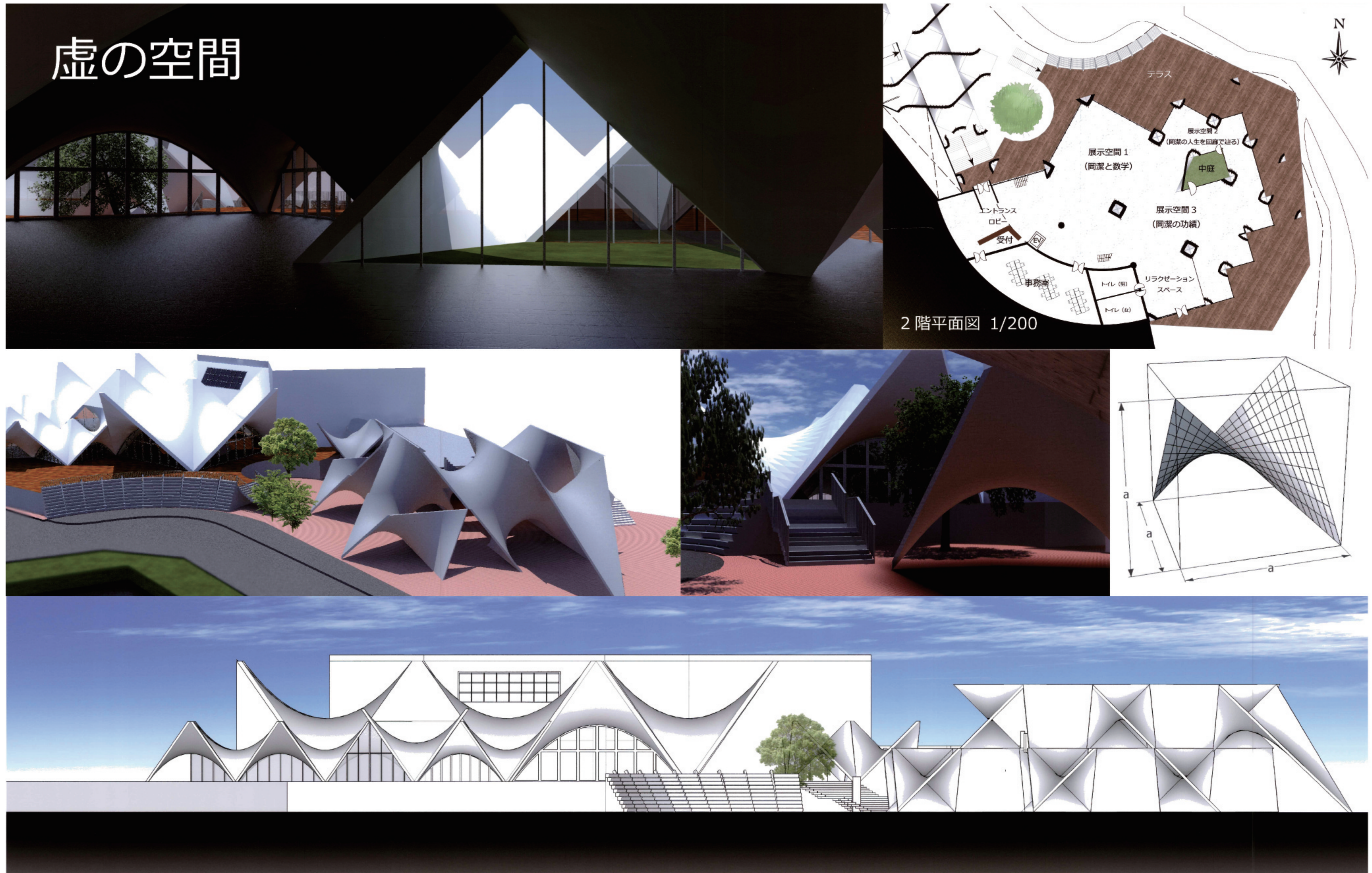
South Elevation 1:200

East Elevation 1:200

虚の空間

山本雅則

数学者、岡潔のためのメモリアル空間。捻じれた形であるHP曲面が、彼の研究した虚数範囲というカタチのないものにカタチを与える。基本単位となるHPシェルを2つの連続形態により、来館者を垂直水平に支配されない非日常の空間体験へと誘う。



Life Is Journey, Journey Is Life- 中田英寿メモリアル空間 -

加藤駿吾

中田英寿が世界中を旅し、出会った多種多様な人々、文化、情報を三角形の板になぞらえ、組み合わせることで空間を構成する。敷地をすり鉢状にすることで中心性と構造上の安定を生み出す。彼が引退の際、仰いだ空は人々の目にはどのように映るだろうか。

Life Is Journey,
Journey Is Life.



- 中田英寿メモリアル空間 -

中田は、引退が決まった試合終了後、しばらくピッチに留まり、天を仰いだ。彼は空を見上げ、何を思ったのだろうか。
彼の目にはこの時の空はどのように映ったのだろうか。
人は空を見て考える。
空は人によって、気分によって、違って見える。
人は空によって、景色によって、気持ちが変わる。

